ほっぷ すてっぷ じゃんぷ

特訓進学塾 名教

MEIKYO KODOMOくらぶ

2012年度版 第11号

塾長コラム

あんぱんち

～第三十三回～

暖かかった先週、冬の間、我が家のベランダで飼っているメダカも、冬眠を終え、泳ぎ回り始めました。塾の門にある梅の木も、花を咲かせ始めました。また春がやってきたんだなと、身近な自然からもたくさん感じた一週間でした。花粉症には悩まされますが・・・。

さて、そんな先週、中学二年生の男の子が、かいわれ大根の種を発芽させたいというので、ペットボトルの底に、水を含ませたティッシュを敷き詰め、種を並べて持ってきました。学校の授業で取り組んでいるのだそうですが、なぜ、塾に、持ってきたのでしょうか。しかも、塾の授業後、わざわざ職員室まで持ってきたのでしょう。

話を聞いてみると、誰よりも早く発芽させたいというので、夜まで活動している塾、しかも、塾の職員室は、生徒が帰宅した後も先生たちが残っているから、夜遅くまで暖かいだろうと考えたとのことでした。その通りです。小学校の理科で学習する発芽の三条件、「空気」「水」「適当な温度」、この三つ目の条件を長時間与え続けられるのが、塾の職員室というわけなのです。

正直、この生徒、勉強が好きで得意なタイプの子ではありません。塾の課題も、やってあったり、やってなかったり、決して褒められたものではありませんでした。でも、ここ三ヶ月、授業で数学をみていても、できることが増えてきました。きっかけは、冬休み、部活のお休み中に呼び出された塾の補習だったような気がします。最初、本人は、無理やり来させられるというわけで、少々嫌がっていましたが、そこで踏ん張り、朝早起きをしてちゃんと塾に来ました。がんばりました。そこでちゃんと課題に取り組んだことで、昨晩の授業の内容がより深く理解できました。そうすると、次の授業の内容もよく分かるということを、身を持って実感したようです。数学の勉強において、一つ一つのことを積み上げていくことの大切さを、彼自身が感じたのでしょう。その後の三学期は、昨日の授業の宿題を、塾のＴＥＲＡＫＯＹＡタイムで取り組むため、必須参加日以外も塾にやってきます。さらに、分からないものがあると、質問に持ってきます。好循環の始まりで、こうなるとその成果が上がるのは時間の問題です。これを他教科にも広げていってくれることを見守っています。

まもなく年度末をむかえます。１年を振り返り、子どもたちのがんばったこと、成長したこと、できるようになったこと、たくさん見つけてあげたいものです。そして、それを、子どもたちに伝えてあげてほしいと思います。それが、子どもたちの次の学年での原動力になるはずです。

今年度の塾の授業も、まもなく終了します。保護者の皆さまには、多くのご理解とご協力をいただき、この一年を無事に終えられそうです。ありがとうございました。また、ほぼ全員の方々に、来年度のご継続の判断をいただいております。重ねて、お礼申し上げます。お子様たちとの縁が続き、次年度も継続してお預かりすることができることをうれしく思います。と同時に、子どもたちの一人一人が、次のステップを上ることができるよう、スタッフ一同力を合わせ、取り組もうと気を引き締めます。来年度も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

塾長　西川　陽祐

今月の学問のすすめ

《もとの文》

政府は法令を設けて、悪人を制し、善人を保護す。これすなはち政府の商売なり

《今のことばでいうと》

政府とは何だろう？政府とは法律をつくり、悪い人を罰し、よい人をまもる。これが政府の「仕事」なんです。

みなさんは政府って、どんなことをするのかわかりますか？

政府や国会の仕事は世の中のためにきまりをつくって、わるい人をつかまえ、よい人をまもることなんですね。でも政府の中心にいる人の中には、ときどきかんちがいをする人がでてきます。自分がえらいと思って、勝手なことをしてしまいます。

そういうことがないよう、法律をつくるところ（立法）と法律をおこなうところ（行政）とそれをさばくところ（司法）はわかれているのです。

みなさんはちゃんと勉強して、「これはいけない」とか「これはこうしてほしい」とか、政府にたいして意見がいえるようにならないといけないんだ。

勉強は、自分がえらくなってお金をもうけるとか、有名になるという目的でやるのではなく、よりよい世の中をつくるためにやるものです。

学問をした人がふえて、一人ひとりにきちんと考える力があれば、へんなことがおこりそうになったとき、ちゃんと反対ができます。そういう国がいい国になって、発展していきます。

チームと同じだね。一人ひとりが自分のレベルをあげて上手になると、チーム全体もつよくなります。

君が勉強することは、日本にへんなリーダーや政府が生まれないために、そして日本というチームをつよくしていくために必要なことだったんだね。

『こども「学問のすすめ」』（齋藤孝著、筑摩書房、2011年11月30日発行）

「あたりまえだけど、とても大切なこと」

ルール 43

もしこの学校にきみたちをいじめたり嫌がらせをしたりする子がいたら、わたしに知らせてほしい。わたしはきみたちの担任だ。わたしはきみたちを守り、世話をするためにここにいる。この学校のだれかがきみたちをいじめたり不愉快な思いにさせたりすることを、わたしはけっして許さない。そのかわりに、きみたちも何か問題が起きたときには、それを自分で解決しようとしないで、わたしにまかせてほしい。

「あたりまえだけど、とても大切なこと」～子どものためのルールブック～

（ロン・クラーク著　亀井よし子訳　草思社）より